

シグマ研究委員会 JENDL-1 積分評価 W.G.

1977 年度第 7 回会合議事録

日 時 1978 年 3 月 27 日 13:30 - 17:30

場 所 原研東京本部第 22 会議室

出席者 菊池 (原研), 亀井 (NAIG), 宝珠山, 佐々木 (MAPI)  
松延 (住友), 山本 (FEO), 瑞慶覧 (PNC, オブザーバー)  
五十嵐 (原研, オブザーバー)

配布資料 (1) 宝珠山, 佐々木, 関: MZA Calculation for JENDL-  
I Cross Check by MAPI (II) ..... JENA 008  
(2) 亀井 : ZPPR-3 解析中間結果 ..... JENA 009

議事

1. 予備解析結果再検討

- JENA008 に基き宝珠山氏より説明があった。
- $\sigma_0 = 0$  の f.table を用い, tanh の内挿法で計算した。
- 1 月 11 日のサブワーキンググループ会合での予想は全て適中していた事が確認された。したがってその結論はそのままで良い。

2. 詳細解析中間報告

a) MZB

- H の library の入手が遅れ今回には間に合わない。

b) ZPPR-3

- JENA009 に基き, 亀井氏より Phase IB の制御棒価値について説明があった。
- セル計算は  $B_m^2 = 0$  で行った。

- C/R の lumping & heterogeneity effect は考慮した。
- 本数が増えると C/E が大きくなる傾向にある。
- 実験値の反応度として  $\Delta k/k \cdot k'$  か  $\Delta k/k$  なのか定義があいまいである。この点は瑞慶覧氏が ANL に問い合わせる。
- 実験値も、測定法でかなり異っており、精度に疑問が残る。
- したがって、計算の出揃った段階で、実験の専門家にコメントを求める方針を決める。
- multi-control rods の輸送補正が、中心ロッドの時と同じで良いかについて疑問が出された。

### 3. 来年度の作業予定

- 詳細解析続行
- 報告書
  - ・ 昨年度の中心炉特性関係のレポートは 6 月末を目標に一次原稿を出す。
- 炉定数概念の検討
  - ・ 炉定数作成コードの調査を行なう。
  - ・ PNC から原研へコードの一般公開の為の整備を要請する動きがある。
  - ・ 炉定数概念の確立について PNC で検討中であるが、これに協力参加する。
- 炉定数作成サービス体制
  - ・ JENDL-2 の標準炉定数の Format を確立する。
  - ・ 次回までに原研で検討しておく。